

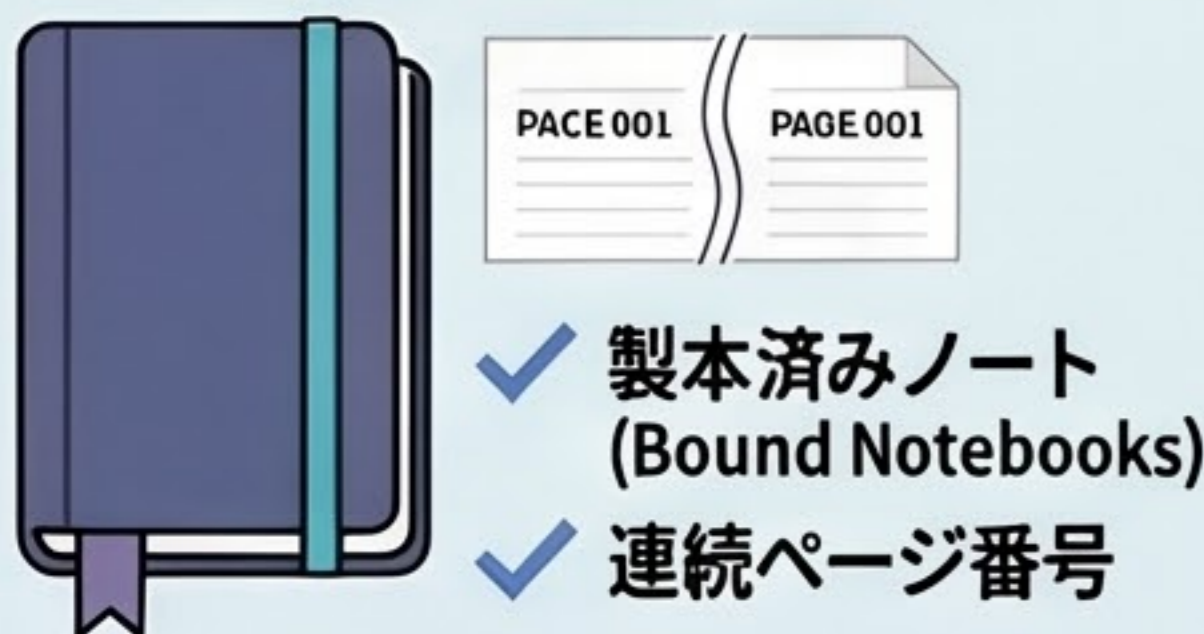
特許を勝ち取るための「戦略的」実験ノート作成ガイド：科学的記録から法的証拠への変革

守りのノート（防衛）：法的証拠としての確立と先使用权の確保

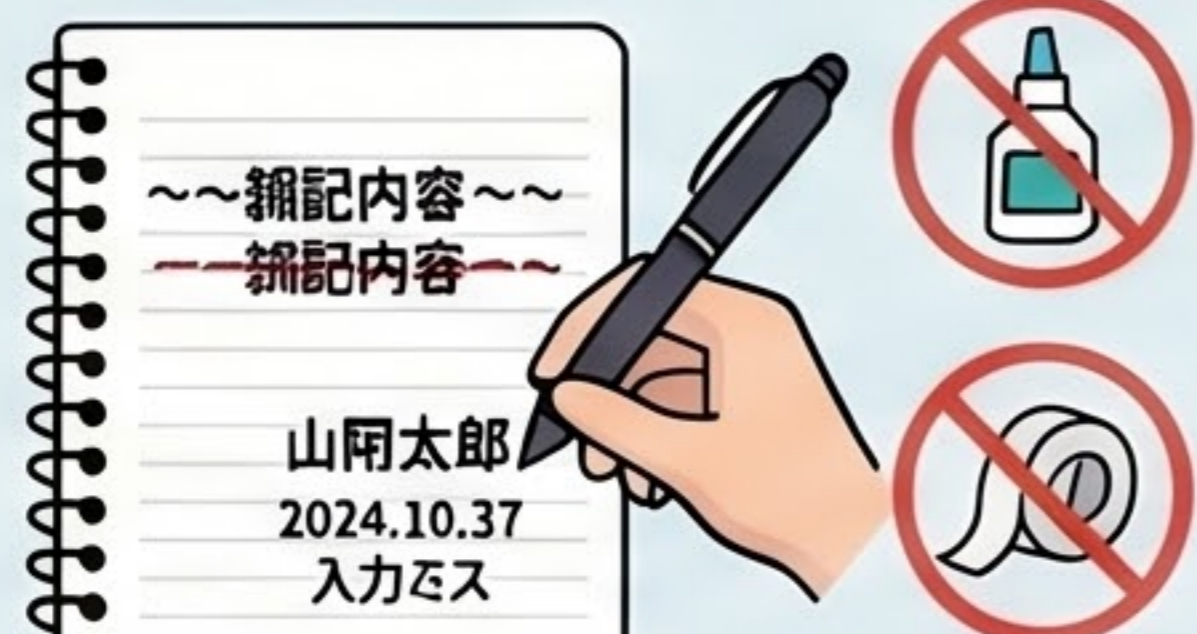
攻めのノート（進歩性の立証）：拒絶理由の克服と権利範囲の拡大

証拠能力を極大化する「形式」の絶対ルール

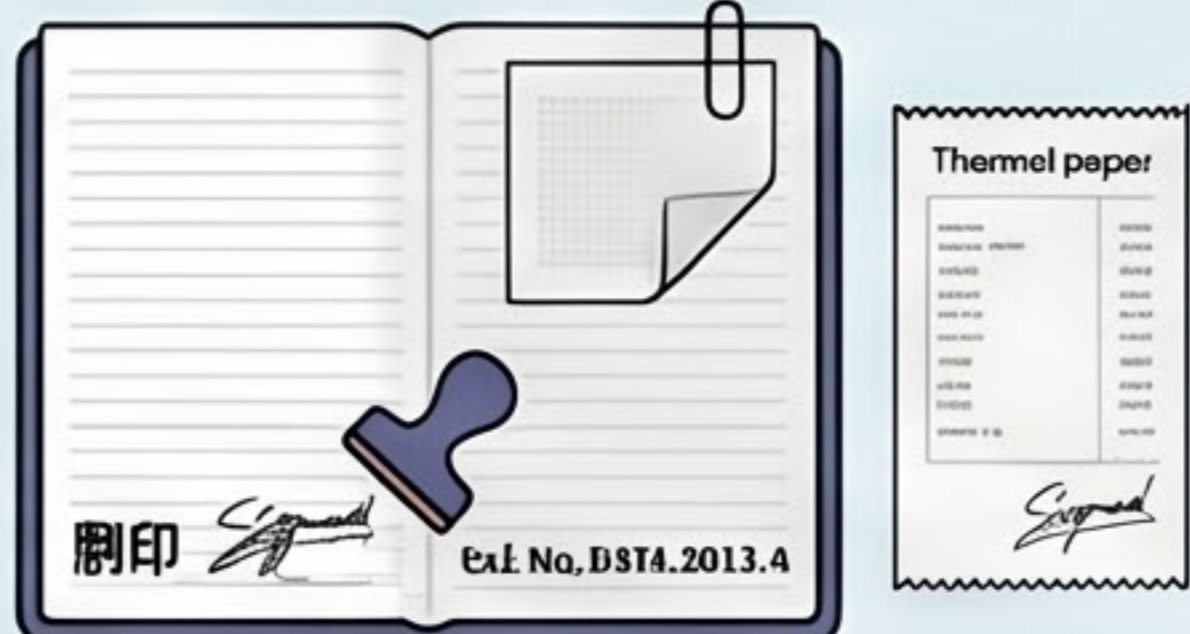
不可逆性を担保する物理的ノートの選定



改ざんを疑わせない筆記・訂正作法



外部データ（感熱紙・生データ）の統合



JPO 進歩性判断フロー

先行技術の認定

本願発明との相違点の認定

当業者が容易に想到できたか？
(自明性の主張)

✓
進歩性肯定



実験記録による反証

法的な「発明日」を確定させる署名プロセス



証人 (Witness) の適格性



「証人の署名日」が法的な基準となる

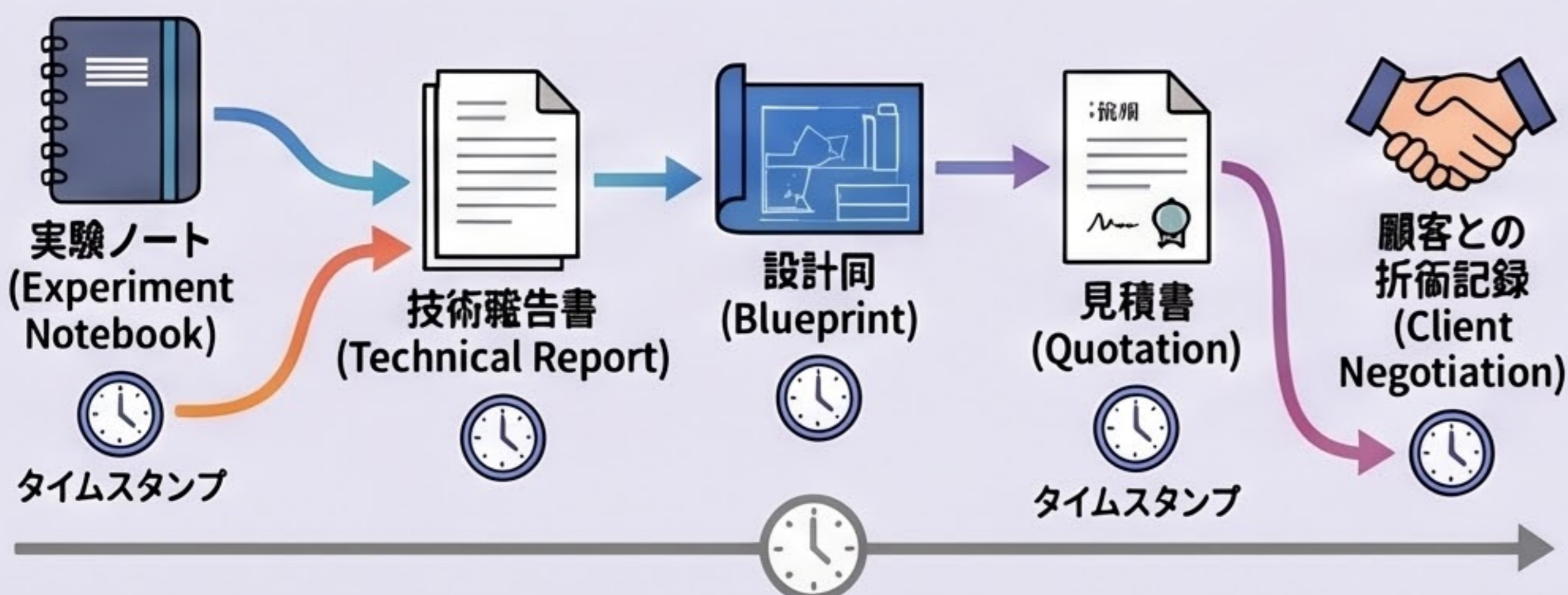


署名タイムラグの最小化



権利防衛：日本における「先使用权」の立証

証拠チェーン



特許と商標の先使用权：要件の違い

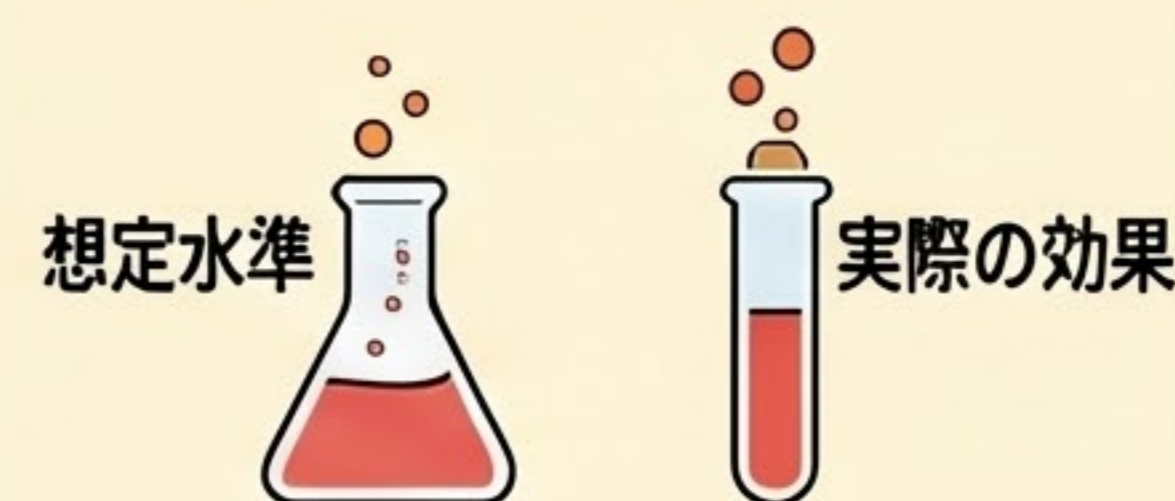
	特許法第79条 (発明)	商標法第32条 (商標)
時間の要件	他人の特許出願の際、既に実施または準備中	他人の商標出願前に使用開始
周知性の要件	不要 (未出願の社内ノウハウでも可)	需要者に広く認識されていること
善意・独立性	独自に発明、または発明者から扣得	不正競争の目的がないこと

デジタルトラスト：電子実験ノート (ELN) の要件

タイムスタンプによる存在証明：特定時期にデータが存在し、改ざんされていないことを第三者機関のハッシュ値で証明

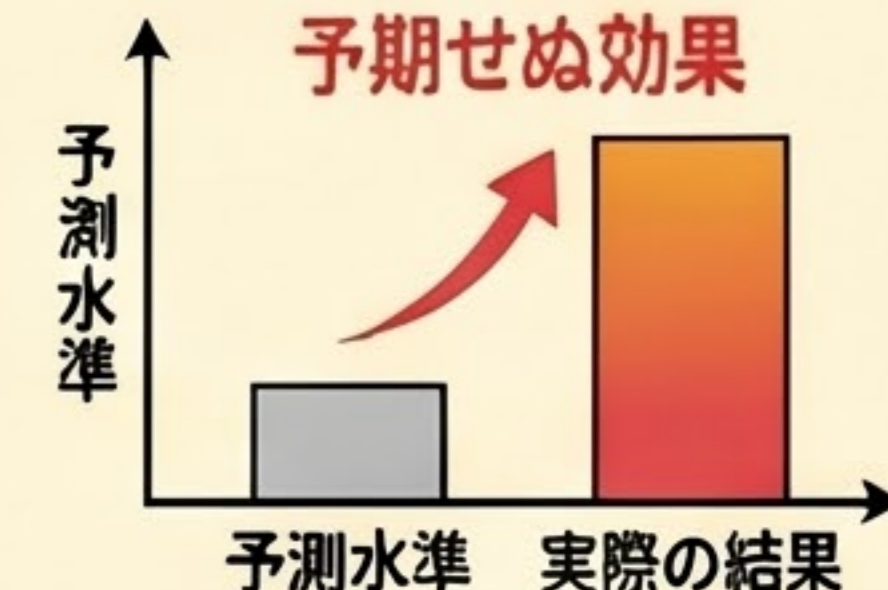
進歩性 (非自明性) の拒絶を打破する記述戦略

「失敗」は最強の防御壁になる



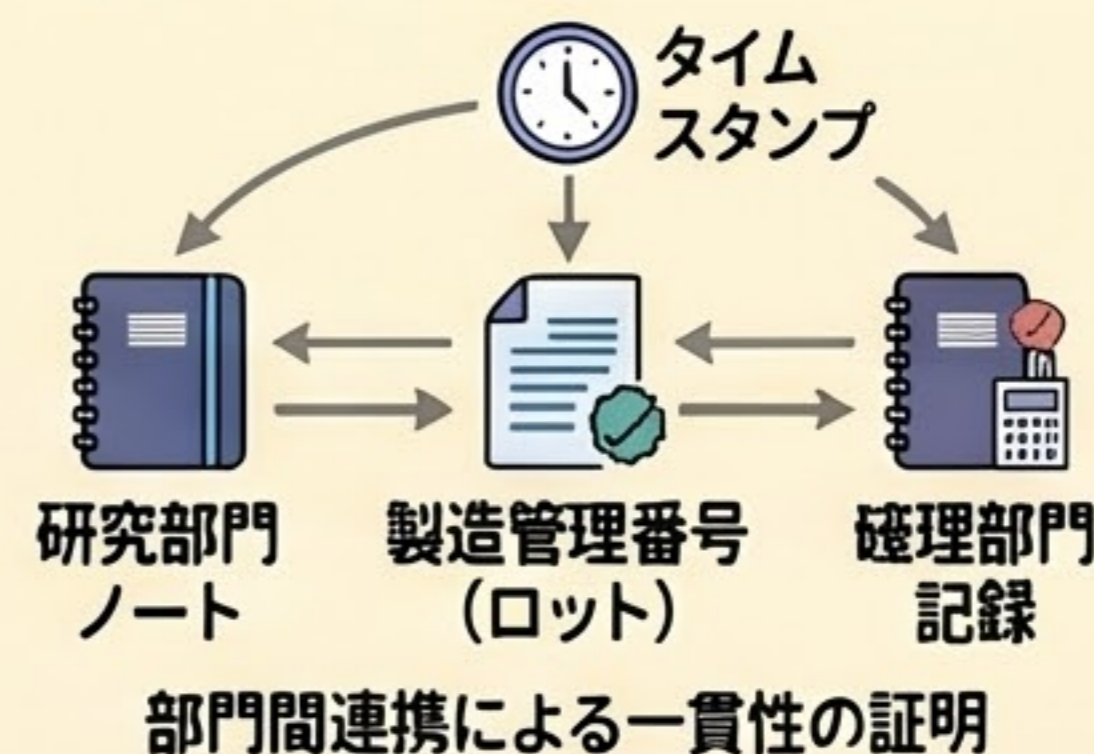
予期せぬネガティブな結果を記録：
俗言が組み合わせを減る際の「技術的な阻害要因」の着眼的証拠

「予期せぬ結果」を際立たせる

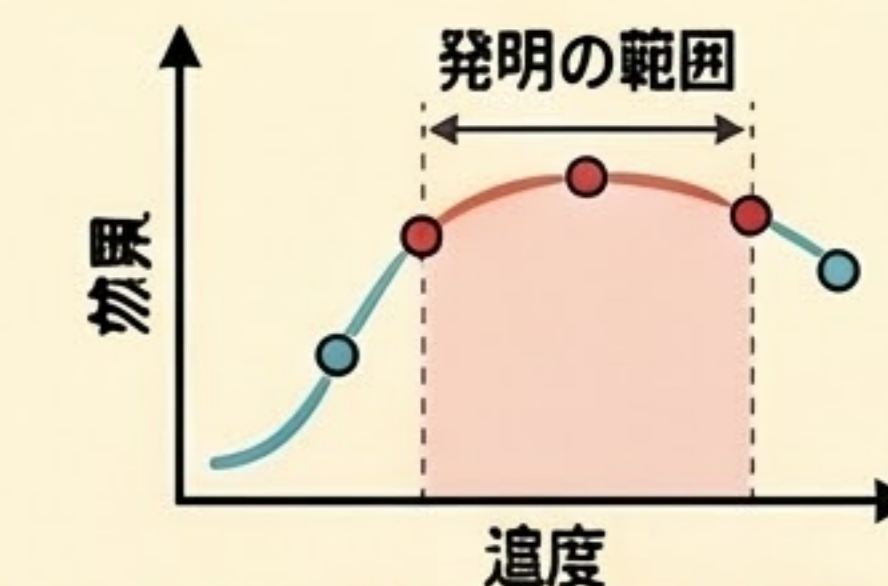


実験的の予測水準と対比し、予測を上回る「有利な効果」で自明性の主張を確す

部門間連携による一貫性の証明



パラメータの臨界性の証明



複雑な条件変遷の履歴を軽し、発明が機能する「臨界意義」と「実施可能条件」を担保